名古屋発
マサラ
ムービー

君のために
僕はここへ
やって来た！

ナゴヤ人も
ビックリ！

コロシも
あるでよ～

ボンベイtoナゴヤ

Bombay to Nagoya

BOMBAY TO NAGOYA／1997年／インド映画／ヒンディー語／105分／RBM製作

STAFF

監督・脚本 チャンチャル・クマール

音楽 アニル・モヒーレ

撮影 キショール・カパーディア

編集 ワーマン・ボーンスレー

美術 ラメーシュ・アビトカール

衣装 シャンケール・P・ニワテー

メイク ボンドリ・ジュケール

製作 ラリット・バクシー

CAST

〈世界をまたにかけるニューヒーロー〉ヴィジャイ・シンハ…アニル・バクシー

〈キュートなダンサー〉ソーナー…プリヤンカ

〈いつもパチンコ屋から出てくる悪役〉ダニー…プレーム・チョープラー

〈ヴィジャイの父は警察幹部〉ブラターブ・シンハ…アローク・ナート

〈算盤の似合うやくざ〉佐藤…原 智彦

映画大国インドが選んだ舞台はナゴヤ!

ボンベイの青年、ヴィジャイ・シンハは正義感の強い警察官。上官である父と共に、密輸の摘発に腕を発揮する毎日。警察の式典で出会った旅回りのダンサー、ソーナーと恋におちるも、ギャングの罠がヴィジャイの両親に‥‥。復讐を誓うヴィジャイは父母の仇、ダニーを追って日本へ。ソーナーもまた、旅公演で日本へ——。

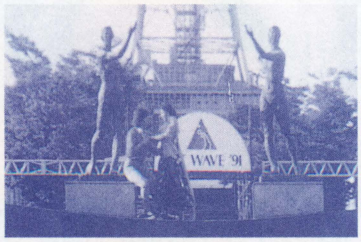
インドからやって来たカップルが、名古屋で熱いダンスを繰りひろげる話題のマサラムービー『ボンベイtoナゴヤ』が、いよいよ劇場公開。交差点のド真ん中でも、デパートの屋上でも、寛容な市民が二人を祝福します。製作にあたったのは名古屋に在住するインド出身のバクシー兄弟。「故郷デリーに似て緑が多く、ほどよく都会で住み心地がいい名古屋」を舞台に。出演は、主人公ヴィジャイにアニル・バクシー、ヒロインには子役出身の人気女優プリヤンカ、敵役に大スターのプレーム・チョープラー、ロック歌舞伎スーパー一座の原智彦がやくざの親分に扮し映画初出演しています。

新幹線で名古屋駅から東京へ向かって名古屋駅に着くという超トリックにはびっくりクリクリ。(ひろゆき/名古屋在住19年)

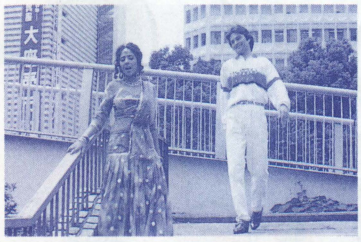
今度、私も『ボンベイ to ナゴヤ』ごっこをしようと思います。(かおり/名古屋在住23年)

監督・脚本：チャンチャル・クマール
撮影：キショール・カパーディア
編集：ワーマン・ボーンスレー　グルダット
音楽：アニル・モヒーレ
美術：ラメーシュ・アビトカール　中野ひろし
衣装：シャンケール・P・ニワテー
メイク：ポンドリ・ジュケール
製作：ラリット・バクシー
出演：アニル・バクシー/プリヤンカ/プレーム・チョープラー/アローク・ナート/モンティ/原 智彦

お問い合わせ…
シネマスコーレ ☎ 052-452-6036
名古屋市中村区椿町 8-12 アートビル 1F



ボンベイ to ナゴヤ
Bombay to Nagoya



『ボンベイtoナゴヤ』公開によせて

'91年の夏ごろ、栄や名古屋駅、明治村や名古屋港で、あなたは踊るインド人を目撃しなかったろうか?美男美女のインド人カップルが派手な衣装を身にまとい、軽快な音楽に合わせて腰をフリフリ踊るのを見て、呆気にとられた人もいたに違いない。あの不思議な光景は、ひょっとしたら夢だったのだろうか?

いや、名古屋を舞台にしたインド映画は確かに存在する。この映画を見て、ボンベイと名古屋をつなぐ幻の橋が、栄のエンゼルブリッジのような存在感で、ありありとスクリーン上に映しだされるのを確かめてほしい。

男には倒さねばならない敵がいる。恋人との逢瀬はこれが最後かもしれない。恋する二人にもはや照れている暇はない。そこが異国の土地であることも忘れ、二人は踊り始める。栄の地下街も、名駅前のロータリーも、踊ってみればゴージャスなセットだ。名鉄パノラマカーが、浮き立つような音楽とともに風景を切りひらく。ヒンディー語の歌声が響く。「♪君のために、僕はここにやってきたんだ〜」その場所が、名古屋だなんて泣けるじゃないか。

両親の生命を奪った敵を追って日本にやってくるインド人警官。主人公を演じるアニル・バクシーは、自分が10年を過ごした名古屋を舞台に映画を作りたかったという。歌舞伎の隈取りでの大立ち回りなどにも、作り手の日本への愛着が強く感じられるし、冒頭のクレジットにある People of Japan に対する謝辞には胸がつまる。

この映画に関わったすべてのインド人と日本人に敬意を表したい。そして完成から数年を経て、この幻の名古屋発マサラ映画を見る機会がやってきたことを喜びたい。

次良丸章(インド映画研究家)

6月12日(土)〜6月18日(金) 12:20 / 2:25 / 4:30 / 6:35
6月19日(土)〜6月25日(金) 12:05 / 2:10 / 4:15 / 6:20

■前売り/1400円(当日一般/1700円・当日学生/1400円)■

ホワイティ梅田泉の広場M-10右上がる東へ5分
扇町ミュージアムスクエア
☎ 06-6361-0088 www.oms.gr.jp